

計画の愛称案について

○愛称募集結果一覧

No.	愛称案	愛称案の理由
1	ふれあい・しあわせ・みんなの 伏見	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい→「共生」「絆づくり」「交流」「助け合い」のために必要不可欠 ・しあわせ→公共の福祉が最大の目標のはず ・みんなの→区民主導のまちづくり意識が大切 ・伏見→伏見区（「ふれあい」、「しあわせ」、「みんなの」の頭文字をとると「ふしみ」）
2	デスム伏見	「伏見ですむ」を逆さにした。
3	ふしみの辻しるべ	伏見の道先案内という意味を込めた。
4	伏見は人・環境にやさしく自然 と歴史がいきづく楽しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんからお年寄りまで、また障害者が元気で安心して暮らせるまち ・交通安全、防犯対策、防災対策等環境の整備をする ・美しい自然を守り、地域の豊かな歴史資源をアピールする ・人々が癒される夢のある楽しく新しいまちをアピールする
5	ふしみん	伏見（ふしみ）＋民（みん）の造語
6	ecoに協力	－
7	伏見教育年＜伏芽（ふしめ）＞	教育から経済等が幅広く芽が出れば良いと思ったことと、今年 は2010年という区切りの年（節目の年）だから。
8	伏見区共汗ネット基本推新 （進？）計画	伏見区民が人や街が、絆や活性の強化のため共に汗を流して活 動、推新（進？）する。
9	ふしみん すむすむプラン	伏見に住む人（伏民）が「住む」「澄む」「すむ」の目標に向か って「すすむ」という気持ちで名付けた。
10	クリーン伏見	そのまま理解してください。
11	伏見みらいふる	伏見区民の未来（みらい）がいっぱい（ふる）盛り込まれた基 本計画であることから。
12	京都の中のいきいき伏見	まず伏見区が京都市11区の一つであることを印象付けるこ とが大切。伏見区に対する行政の現実対応と実情をまず正す。 その上で昭和4年以前の伏見を大切に、生き生きと発展する 伏見を描く。
13	蘇れ！明鏡止水そして鶉鳴く伏 水の里	南部に広がるかつての巨椋の池に映る月影、北にはあの大歌人 「藤原俊成」も詠んだうずら啼く深草の里。そして、中心部 には銘酒に欠かせない「伏水」をイメージした。
14	エンジョイ！ふしみ プロジェ クト	伏見に住むことに喜びを感じ、伏見に住んで本当に楽しいと実 感できるまちづくりを具体的なプロジェクトを実行すること により推進するという強い意志を込めた。

No.	愛称案	愛称案の理由
15	伏見活き活き 2 1	伏見の町が、生活、産業、施政、教育、健康医療、環境などあらゆる面で活き活きとした町になっていることを願って命名した。10年後には「活き活き」というイメージが私たち伏見の町で暮らす一人ひとりの心の中に根付いていることを願う。
16	伏見のまちの《道しるべ》	本計画が伏見区民の一人ひとりが街の将来の夢を託せる『道しるべ』であることを願って提案した。
17	町をつなぐ心をつなぐ我が伏見	伏見区は広域であるが故か、各学区、地域間の交流が大変希薄であるように思われる。故に、南部ふれあいプラザのような町と町、住民の心と心をつなぐ、交流を深めるような行事をできる限り開催してほしい。
18	自分の健康、環境、家計は自分で管理し、まもる住民の住む街・伏見！	政治の主権者はあくまで市民であり地域住民である。住民主導で行政が参加する仕組みが求められる。
19	DO YOU FUSHIMI (あなたはふしみしますか?)	緑の山、澄み切った青い空、豊かな川に囲まれ豊かな自然の温もりにつつまれ、多彩な歴史と文化を育み東山三十六峰から流れてきた地下水(伏水)によるお酒等、暮らしに(以下不明)
20	遊・愛・疏水(ゆう(YOU)あい(ハートマーク)そすい(SOSUI))	疏水を中心にして子どもや大人が遊べて愛される川になってほしいことからこの名前にした。
21	ふれんず(伏恋図)	何と言っても、伏見が好きである。恋愛のように友達のように、そしていつまでも住みたい町である。
22	プラン・ドゥ・ふしみ(Plan Doふしみ)	「プラン・ドゥ」はPLAN DO SEEから。PDSは計画、実行、検証のサイクルをくりかえし止揚していくイメージ。「ドゥ」はフランス語のdeのように聞こえて耳障りもいい。
23	伏見区(ふしみく)みらいふるプラン	輝く伏見区の未来を創造する基本計画
24	ふれあい伏見区(ふしみく)ゆめづくりプラン	ふれあい伏見区の夢と未来を創造する基本計画
25	伏見区(ふしみく)ゆめみらいプラン	ふれあい伏見区の夢と未来を創造する基本計画
26	伏見区(ふしみく)ゆめのまちプラン	伏見区の夢と未来のまちづくりを推進する基本計画
27	みんなの力で輝くまちに！	自分達のまちは、自分達でやるしかない。きっと出来る。必ず出来る。
28	伏魅力ブラッシュアップ作戦計画	伏見の潜在的な魅力を発掘・宣伝する方向性を示した文書であることを端的に表現してみた。
29	伏魅ブラッシュアッププラン	伏見の魅力(伏魅力)の言葉をいかして、さらによくするイメージを加えた。

No.	愛称案	愛称案の理由
30	ふしみらいちゃん	伏見と未来を一体にして、伏見の未来をイメージし、明るい伏見の未来を植えつきたい。
31	水と緑がうるおう歴史文化の薫り高い伏見区	山や川、豊かな自然に恵まれ、多くの遺跡、史跡等歴史資源、神社、寺院、世界遺産醍醐寺もあり、住み続けたい、訪れたい、伏見に、醍醐にしたい。
32	2011～20伏見区基本計画 水と緑と労（いたわ）りと歴史文化の都伏見	伏見の水と美しい緑の中で立派な仕事をして、都伏見の歴史と文化を大切にする。
33	伏見成創（じょうぞう）計画	伏見のお酒の醸造にかけ、成熟した計画をはじめめる。
34	礎（いしずえ）	基本計画を伏見の将来の繁栄の礎とする。
35	ふしみ来らめきプラン	「み来」で未来を連想してもらい、伏見の未来が輝かしいものになる計画という意味である。
36	伏見ゆめプラン	平成23年度から10年間の伏見区を方向づける計画であることから、夢をイメージしてこの名前を考えた。
37	伏見みらいプラン	平成23年度から10年間の伏見区を方向づける計画であることから、未来をイメージしてこの名前を考えた。
38	伏見・醍醐 山の端（やまのは）散策路	「山の端」は月かかる美句なれど、用水路は北から南の端山を通っている。
39	将来を見据えて成長と発展を続ける伏見	10年後だけではなく、この先長い将来を考えていけるような基本計画を実行しようとしている。
40	ふしみて『はたす』	将来像に挙げられている「すみます」「はたらきます」「たのしみます」の頭文字を取った。
41	エココミュニケーション☆伏見	エコをしながら、区民の方同士のコミュニケーションを図っていければよいと思った。
42	伏見区 人 環境 歴史 融合 計画！	人、環境、歴史、この3つの調和を目指すことを表している。
43	誇れるまち、未来の伏見	地元にあふれをもっとほしい。
44	ふしみん つながりプロジェクト	つながりを意識した。
45	わっしょい伏見	祭りの時などに良く聞く「わっしょい」というかけ声にはみんなの士気を上げ、一丸となって盛り上げようという意味があるので。
46	とれたて市場	その名のとおり、朝採れたばかりの新鮮な野菜を集めて大きな1つの市場を売るという計画。またはそこに集まった客同士のコミュニティの場づくりを目指すもの。
47	伏見からはじまる「新しい京都」のまちづくり	伏見の魅力を活かした取組を中心に、伏見区が一番となって「新しい京都」を創っていく。
48	いきいき住めるまち 伏見	基本目標が「伏見ですむ」なので、そこから誰もが生き生きと暮らしていけるまちを目指していけたらと思い、考えた。

No.	愛称案	愛称案の理由
49	伏見の温もりでつながるまちづくり	伏見に住む人の温もりでつながっていくようなまちづくりをしていこう。
50	伏見を京都の中心に	伏見の魅力を生かして伏見を盛り上げると共に京都全体を盛り上げよう。
51	Aggressive 伏見	もっと一人ひとりがアグレッシブに行動しようという意味を込めた。
52	京都伏見から全国の伏見へ・・・	龍馬ブームにのって寺田屋を積極的にアピールする。また、伏見酒造、伏見稲荷など京都に留まらず全国的に認められる観光ポイントの紹介及び観光客獲得に対する計画と実行。
53	つながりで築く伏見のまち	環境や歴史、人、地域とのつながりを重視したまちづくり
54	すみやすいまち 伏見	住む 澄む 済む という3つの伏見のまちづくりの目標を入れ、わかりやすいものがないと考えた。
55	環境をかんがえるまち 伏見	環境にやさしく、自然を大切に、というような名称は使い古された感じがしたので。その根本に戻ってみると「考える」ことから始まっていると思ったので。
56	～伏見～絆と緑溢れる都市	「住民同士の絆、地域と行政の絆」と緑が溢れる地域になるように、との希望を込める意味で、この愛称を提案する。
57	ふしみらい計画	「ふしみらい」とは伏見の未来のこと。未来を見つめて現実的なことから少しずつ動き出そうということで、この愛称をつけた。
58	より良い未来へ	今の環境をこれからの世代に残したいから
59	未来の私たち～イキイキ伏見区プロジェクト～	10年間の長い計画スパンであるため、未来の活気あふれる伏見区に私たちがそこにいることを想像してほしいと願い、この愛称にした。
60	伏見 eco 検定	—
61	スマスマ伏見！プロジェクト	この基本計画の主要テーマは「伏見ですみます」である。「すむ」という言葉には多様な意味が込められており、「ます」には「増す」というプラスの意味も込められている。この主要テーマを愛称の一部にすることでこの計画の目的を印象的に伝えられると思う。また、「伏見」のみ漢字にすることにより、伏見の計画であることが分かりやすくなっている。
62	笑顔あふれる社会伏見区	伏見区で暮らしている人が笑顔で暮らせる社会を目指すという意味
63	歴史と教育、環境と地位が活性させるヒューマンネイチャー	地域の人々の人間性を持って一人ひとりがその地域を活性させるため、持ち味を生かして取り組むプロジェクト
64	すみよい伏見	住みやすい&区内で済んで良いね、という事で・・・
65	ふしみズム	イズムと「3つのすむ」をかけあわせた
66	ふしみ力 UP！プラン	「伏魅力」と「伏見力」の両方を表現できるよう「ふしみ」とし、魅力を更に向上させるという意味を表した。

No.	愛称案	愛称案の理由
67	「すみたい！」伏見プラン	キーワードである「すむ」からずーと住み続けたいと思える伏見まちづくりプランであることを表した。
68	未来輝く伏見へ	今の世代よりはるかに輝く伏見にしていく。だれもが好きなる伏見にしていくまちづくり
69	伏見から始まる京都	このエコ市を通して伏見の存在（特徴や伝統）をみんなに知らせたい。
70	I Love Fushimi プロジェクト	とにかくみんな伏見が大好きになってほしい！という気持ちがこもっている。「伏見の人」、「伏見の町」、「伏見の自然」すべてひっくるめて伏見を愛することができるようになるためのプロジェクトという意味。
71	すむまち伏見	「伏見ですむ」という基本目標を明確にするため。
72	皆でつくる未来の伏見	住民や行政が協働して未来の伏見をつくっていくことを表した。
73	人が主役、まちが主役 輝け伏見	区民（人）や地域（まち）がまちづくりの担い手となることで、伏見がより輝くということを表した。
74	未来へダッシュ！伏見がダッシュ	未来への明るい希望と、溢れる区民やまちのエネルギーを表した。

○事務局推薦案

No.	愛称案
11	伏見みらいふる
23	伏見区みらいふるプラン
57	ふしみらい計画
65	ふしみズム
71	すむまち伏見
72	皆でつくる未来の伏見
74	未来へダッシュ！伏見がダッシュ